公益財団法人

日本武道館

NIPPON BUDOKAN

日本武道館について

富士山の裾野を引くような流動美の大屋根に、武道の精神を表徴して、壮麗雄大な姿を千代田の杜に現わしている日本武道館は、我が国伝統の武道を国民とくに青少年の間に普及奨励し、心身の錬磨、育成を図って、民族の発展に寄与するとともに、広く世界の平和に貢献することを創建の目的としています。

日本武道館は、この大理想を実現するために、国会議員各位の熱意と、政府、経済界並びに国民の総意による力強い支援で建設され、1964（S39）年10月3日、天皇、皇后両陛下をお迎えして演武始めの儀を行い、併せて、世界に誇る武道の大殿堂を記念する開館式を挙行いたしました。そして、第18回オリンピック東京大会では、武道のデモンストレーションを行い、柔道競技会場として各国の観衆を集め、世紀の熱戦が連日展開されました。

以後、日本武道館は、青少年の心身錬磨の大道場として各種武道大会に使用される一方、公益的な使命をもつ諸行事にも活用されています。

今や武道は、日本国内はもとより、国際的にも年々関心を高めつつありますが、日本武道館は、民族の誇りとするこの伝統文化である武道を正しく継承し、未来に引き継ぐため、永遠の歩みを続けてまいります。

About the Nippon Budokan

Standing prominently in the Chiyoda woods, the Nippon Budokan Hall and its magnificent roof resembling the beautiful shape of Mount Fuji symbolizes the spirit of budo. The Nippon Budokan Hall was constructed with the aim of promoting budo as a part of traditional culture among citizens and, in particular, Japan's youth. The purpose of this is to facilitate the cultivation of mind and body, thereby contributing to the growth of the nation, and promoting world peace.

In order to fulfill this mission, the Nippon Budokan was built through impassioned support by diet members, the government, industry, and the people of Japan. On the 3rd of October in 1964, in commemoration of the official inauguration of the Nippon Budokan Hall, a budo demonstration was conducted along with an official opening ceremony in the presence of Their Highnesses the Emperor and the Empress of Japan. On the occasion of the 18th Olympic Games in Tokyo, another budo demonstration was conducted at the Nippon Budokan Hall along with the first-ever Olympic judo competition. The events attracted thousands of spectators who were enthralled by the fierce competition that took place.

Ever since then, the Nippon Budokan has evolved into a center for fostering healthy youth in body and mind through budo education, and serves as a venue for budo-related events such as demonstrations and major competitions which are regularly conducted in the main hall. The hall also serves as a popular venue for many other important events of public interest.

Budo is constantly developing and gaining recognition in Japan and overseas. It is in our responsibility to preserve budo as an integral part of traditional Japanese culture, and transmit it to future generations in a way that preserves its essence.

武道とは

日本武道協議会（全日本柔道連盟、全日本剣道連盟、全日本弓道連盟、日本相撲連盟、全日本空手道連盟、合気会、少林寺拳法連盟、全日本なぎなた連盟、全日本銃剣道連盟、日本武道館の10団体で組織）により、「武道とは何であるか」を明確にするため、昭和62年に「武道憲章」、平成26年に「武道の定義」が制定されました。

武道の定義 （平成二十六年二月一日制定）

武道は、武士道の伝統に由来する日本で体系化された武技の修錬による心技一如の運動文化で、心技体を一体として鍛え、人格を磨き、道徳心を高め、礼節を尊重する態度を養う、人間形成の道であり、柔道、剣道、弓道、相撲、空手道、合気道、少林寺拳法、なぎなた、銃剣道の総称を言う。

武道憲章 （昭和六十二年四月二十三日制定）

武道は、日本古来の尚武の精神に由来し、長い歴史と社会の変遷を経て、術から道に発展した伝統文化である。

かつて武道は、心技一如の教えに則り、礼を修め、技を磨き、身体を鍛え、心胆を錬る修業道・鍛錬法として洗練され発展してきた。このような武道の特性は今日に継承され、旺盛な活力と清新な気風の源泉として日本人の人格形成に少なからざる役割を果たしている。

いまや武道は、世界各国に普及し、国際的にも強い関心が寄せられている。我々は、単なる技術の修練や勝敗の結果にのみおぼれず、武道の真髄から逸脱することのないよう自省するとともに、このような日本の伝統文化を維持・発展させるよう努力しなければならない。

ここに、武道の新たな発展を期し、基本的な指針を掲げて武道憲章とする。

（目的）　第一条

武道は、武技による心身の鍛錬を通じて人格を磨き、識見を高め、有為の人物を育成することを目的とする。

（稽古）　第二条

稽古に当たっては、終始礼法を守り、基本を重視し、技術のみに偏せず、心技体を一体として修練する。

（試合）　第三条

試合や形の演武に臨んでは、平素錬磨の武道精神を発揮し、最善を尽くすとともに、勝っておごらず負けて悔まず、常に節度ある態度を堅持する。

（道場）　第四条

道場は、心身鍛錬の場であり、規律と礼儀作法を守り、静粛・清潔・安全を旨とし、厳粛な環境の維持に努める。

（指導）　第五条

指導に当たっては、常に人格の陶冶に努め、術理の研究・心身の鍛錬に励み、勝敗や技術の巧拙にとらわれることなく、師表にふさわしい態度を堅持する。

（普及）　第六条

普及に当たっては、伝統的な武道の特性を生かし、国際的視野に立って指導の充実と研究の促進を図るとともに武道の発展に努める。

公益財団法人日本武道館の主な事業

青少年武道錬成大会（国庫補助事業）

武道指導者講習会（国庫補助事業）

日本武道館施設概要

■ 本館（正八角形）

構造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造） 地上３階・地下２階
建築面積	7,794.42 ㎡
総延床面積	19,042.99 ㎡（大道場床面積 2,551.48 ㎡）
最大収容数	14,501 人※
アリーナ仮設席	2,946 席
１階席	2,959 ～ 3,199※席
２階席	3,604 席
３階席	4,272 席
３階立見席	480 席
	計　14,321 ～ 14,501※席

※常設車椅子席を撤去し、固定席にした場合

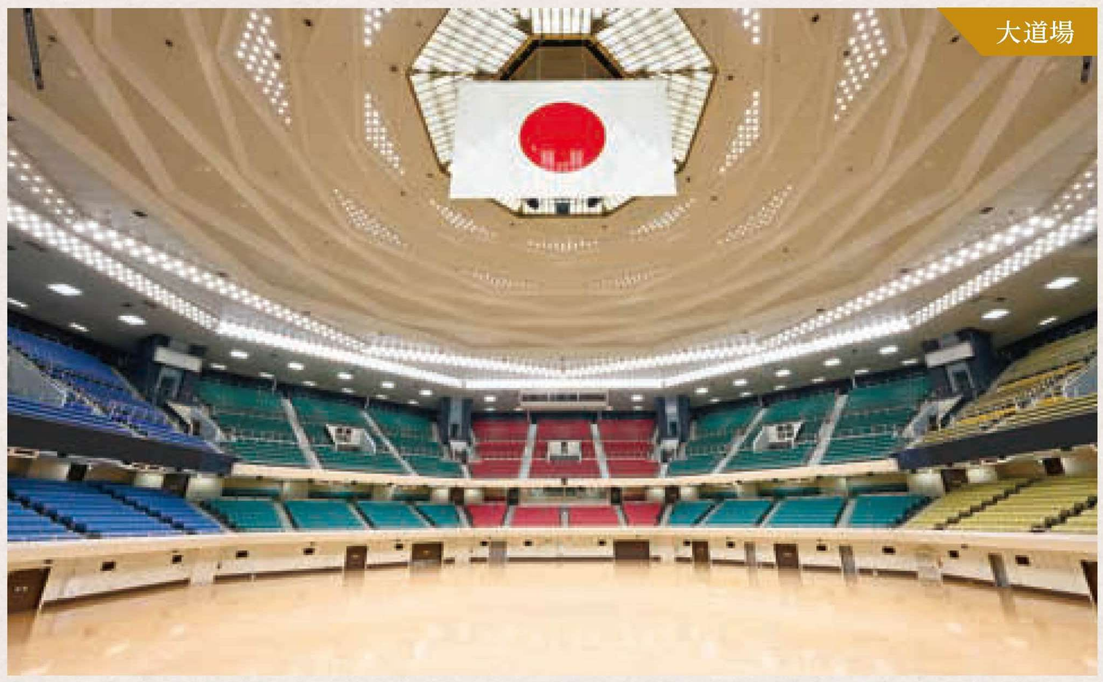
■ 中道場棟（付属棟）

構造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造） 地上１階・地下２階
建築面積	1,473.11 ㎡
総延床面積	3,048.06 ㎡
主な施設	中道場（25.8m×25.5m）、控室、 レストラン、売店

■ 日本武道館研修センター

日本武道館の分館として建設された、千畳敷の大道場・弓道場・相撲道場・研修室・宿泊室などを備える施設です。

所在地	〒299-5231　千葉県勝浦市沢倉582


大道場

中道場

日本武道館研修センター

武道海外派遣事業（国庫補助事業）

書道普及奨励事業

出版物刊行事業

古武道保存事業
（国庫補助事業）

武道学園

事務局組織図

- 事務局長
- 事務次長
  - 総務部
    - 総務課
    - 会計課
    - 施設課
    - 警備課
  - 振興部
    - 振興課
    - 普及課
    - 武道学園
    - 業務課
  - 教育文化部
    - 教育文化課（書道展事務局）
    - 出版広報課（月刊「武道」編集部）
  - 日本武道館研修センター
    - 管理室

交通のご案内

■ 東京メトロ東西線・半蔵門線、都営新宿線
「九段下」2番出口より徒歩5分

公益財団法人日本武道館

〒102-8321東京都千代田区北の丸公園2番3号

TEL　03-3216-5100（代表）

NIPPON BUDOKAN

2-3, KITANOMARU KOEN,
CHIYODA-KU, TOKYO, JAPAN 102-8321

ホームページ https://www.nipponbudokan.or.jp/